

授業改善書

科目名	保育内容（言葉） I（火1）
担当者	佐内信之

授業の概要

子どもの発達において「言葉」は、コミュニケーションの手段、行動の調整、考える道具として非常に重要な役割をもっています。そこで、本授業では言葉について子どもが興味や関心を広げ、より良い成長を促すために、保育者が言葉の観点から深く保育について考察できるように講義します。

授業の問題点

授業内容についての評価「シラバスに提示されていた内容、進度と一致していましたか」が、他の項目に比べると低い点数でした（4.21）。これは本学で授業を担当するのが初めてであったため、事前に学生の実態を十分に把握できていなかったことが原因だと思われる。

学生の授業満足度

「授業の内容はあなたにとって得るところのあるものでしたか」の点数は4.46、「全体的に振り返って、授業に満足できましたか」は4.54と、おおむね好意的な評価が得られました。これは、グループで話し合う活動を取り入れるように意識して授業を構成したためだと思われる。

授業改善の課題と方策

活動中心の授業を行うと学生の満足度が上がることは想定通りでした。けれども、どのような活動の反応が良いのかは、試行錯誤しながら探っていたところがあります。そのため、当初の予定通りには進められなかったという反省があります。保育の意識を高めるためには「言葉遊び」が有効であると分かったため、次年度に向けてシラバスの改善を行う予定です。

その他